

日本共産党狛江市議団ニュース

2015年3月23日 臨時号

発行：日本共産党狛江市議団

連絡先：市議会控室3430-1177

日本共産党狛江市議団の活動を紹介します。

市民福祉が後退—高橋市長提案の予算

- 敬老金の引き下げ⇒100歳以上は2万円がゼロに
- 入浴券の交付に所得制限⇒10人がもらえなくなる
- 介護保険料 16.7%値上げ⇒平均年9000円値上げ
- 多子世帯の保育料軽減廃止⇒最大16万7千円値上げ



来年度予算を審議する予算特別委員会（3月18日、市役所内）

敬老金や入浴券、これまでどおり支給・交付を

日本共産党市議団が予算組替え提案

自民、公明、民主、生活ネなど反対否決

3月16日、18日まで全議員による予算特別委員会が開かれ、高橋市長提案の来年度一般会計予算は自民、公明、民主、生活ネなどの賛成多数で可決されました。

日本共産党は、市民福祉の後退を許さず切実な願い実現のため予算組み替え動議を提出しました。しかし自民、公明、民主、生活ネ、辻村議員、山田議員が反対し、市原議員、正木議員が退席して否決され

ためため原案に反対しました。

消費税8%増税と物価高、賃金の低迷、年金切り下げなど、市民生活は一段と厳しさを増しており、市民生活への支援と市民福祉の充実が急務となっております。また東日本大震災から4年、災害死者ゼロに向けた地震災害対策の強化が求められています。

ところが高橋市長提案の予算では、高齢者のご長寿をお祝いする敬老金が77歳は7千円が5千円に、88歳は1万円

が8千円に、99歳は2万円が1万円相当の記念品に、100歳以上は2万円がゼロになつてしまいます。また自宅にお風呂がない65歳以上の方や満12歳以上の障がい者に月4枚支給されていた入浴券交付事業に所得制限が導入され、10人の方がもらえなくなつてしまいます。さらには介護保険料が16.7%、平均で年9千円も値上げされ、保育園の多子世帯への保育料軽減措置が廃止されるため最大

で16万7千円もの大幅値上げとなります。

そのため日本共産党は、敬老金や入浴券をこれまでどおり支給・交付することや介護保険料の低所得者軽減の拡充、多子世帯への保育料軽減措置の継続などもりこんだ予算組替え提案を行いました。

提案では、ホームヘルプサービスの利用料を市民税非課税世帯に本人負担分の4割を軽減する制度や生活保護世帯へのエアコン設置助成、地震災害対策として、防災行政無線が家の中で聞こえる防災ラジオ千台の貸出し、家具転倒防止器具設置への助成、他市と比べ高すぎる議員の期末手当を引き下げることも求めています（表参照）。この提案を実施するために必要な予算は約1700万円、予算全体のわずか0.07%、やる気になればすぐに実現できます。

日本共産党の予算組み替え提案

- ①市民福祉の後退をストップし市民福祉充実へ
 - 敬老金をこれまでどおり支給（263万円）
 - 入浴券をこれまでどおり交付（25万円）
 - 介護保険料の低所得者軽減を拡充（1200万円）
 - 保育園多子世帯の保育料軽減を継続（60万円）
 - 介護保険利用料の低所得者4割軽減（780万円）
 - 生活保護世帯のエアコン設置に助成（320万円）
 - ②災害死者ゼロへ地震災害対策促進
 - 防災ラジオ 1000台の貸し出しを実施（900万円）
 - 家具転倒防止器具の取り付け等助成（270万円）
 - ③産業振興へ住宅リフォーム助成を実施（500万円）
 - ④和泉保育園の民間委託関係費削除（△1112万円）
 - ⑤議員の期末手当を減額（△1852万円）
- 6財源は財政調整基金約1700万円を活用



みなさんと力をあわせてがんばります。



岡村しん議員
6751-2757



宮坂良子議員
3480-1895



西村あつ子議員
3480-2780



田中とも子議員
042-427-1183



鈴木えつお議員
3488-8839